

千歳の未来を担う子どもたちのために 奨学金制度ってどんなもの？

教育委員会では、経済的な理由で修学が困難な学生や生徒が教育を受けられる機会を確保するため、昭和35年から奨学金を交付しています。

今月の焦点は、奨学金制度についてご紹介します。

1 奨学金制度ってどんな制度？

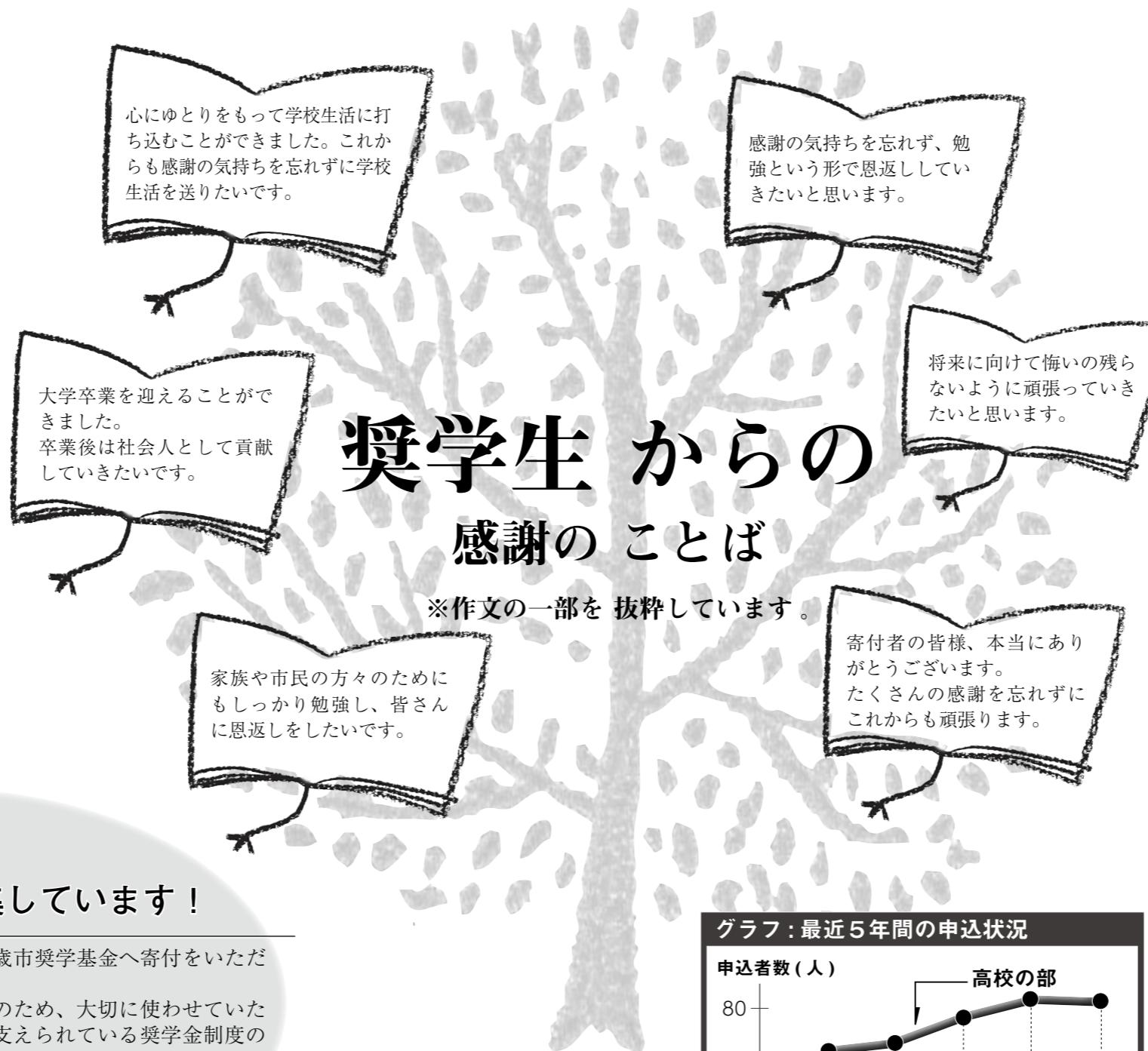
教育委員会では、学習する意欲や能力がありながら、経済的な理由で修学が困難な学生や生徒に対して、等しく教育を受ける機会を確保するため、奨学金を交付しています。市内に住民登録があり（保護者が市内に住民登録があるときを含む）、下記の全ての支給要件に当たる方を対象に、奨学生選考委員会による審査を経て奨学生を決定しています。

奨学金は、6月、9月、12月、2月の年4回に分けて交付しています。この奨学金は給付型のため、将来返還する必要はありません。

※奨学生は、毎年3月1日から4月10日まで募集します。詳細は、2月号の広報ちとせでお知らせします。

奨学生からの感謝のことば

※作文の一部を抜粋しています。



奨学金制度は、皆さんのお金で成り立っています。これまで奨学金の主な財源は、制度に理解、支援しているだけの市民の皆さんや企業、各種団体からの寄付金を積み立てた「奨学基金」の運用により貯ってきました。高金利であった平成3年度は、1年で207万6845円の基金運用益がありました。

が、平成26年度は1万8862円にまで減少し、現在では、奨学基金を取り崩している状況です。平成27年4月時点では、約6436万円の基金残高となっており、平成27年度の交付金額は、約618万円（高校の部で45人に約378万円、大学の部で20人に約240万円）です。

皆さんからの寄付がなければ、約10年后には、基金残高が底をついてしまい、将来、奨学金の財源を確保できなくなる恐れがあります。預金利子が見込めない現在、皆さんからの善意ある寄付金によって、奨学金制度は支えられています。

寄付をしていただける方を募集しています！

これまで市民の皆さんや企業、各種団体から千歳市奨学基金へ寄付をいただき、心からお礼申し上げます。

皆さんからの寄付金は、未来を担う子どもたちのため、大切に使わせていただいております。今後も、皆さんの善意によって支えられている奨学金制度の安定的な運用を図るために、千歳の未来を担っていく子どもたちの一助として、制度の趣旨にご理解いただき、寄付のお願いを申し上げます。

年度	合計寄付金額	寄付件数
20年度	203万円	12件
21年度	201万2,500円	27件
22年度	822万7,650円	76件
23年度	587万91円	48件
24年度	718万5,239円	45件
25年度	651万2,649円	35件
26年度	748万1,271円	35件

※奨学金制度が皆さんのお金によって支えられていることを広く周知するために、寄付をいただいた方の氏名（個人名、会社名、団体名など）を市のホームページ「教育委員会」 - 「奨学金・就学援助」 - 「奨学金への寄附募集」で紹介させていただいている。

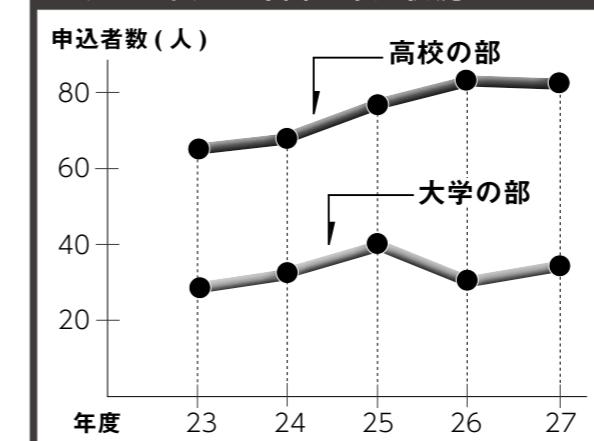
記事のお問い合わせ

千歳市教育委員会教育部

企画総務課総務係

電話(24) 0819

グラフ：最近5年間の申込状況



修学を希望する学生や生徒が、奨学金制度を活用できるよう給付人数を拡大しました（平成21年度10人（高校・大学の部で各5人）、平成24年度15人（高校の部））。

◎高等学校、高等専門学校、専修学校（修業年限が3年以上の高等課程または修業年限が2年以上の専門課程に限る）、大学（短期大学を含む）に在学中または進学を希望する方

◎学資に乏しい方

◎学業が優良で素行が善良な方

部門 (予定人数)	対象	金額
高校の部 (45人)	高校生	月額 7,000円以内
	高等専門学校生（1年生から3年生）	
大学の部 (20人)	専修学校（修業年限が3年以上の高等課程）	
	大学生（短期大学含む）	月額 1万円以内
	高等専門学校生（4年生、5年生および専攻科）	
	専修学校（修業年限が2年以上の専門課程）	